SONY®

3-866-106-**03**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-65

⚠警告　安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ICレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

⚠警告

- **内部に水や異物を落とさない**
  水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

- **湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない**
  火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

⚠注意

- **内部を開けない**
  感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

- **大音量で長時間つづけて聞きすぎない**
  耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ICレコーダーとは?

本機は、ICメモリーを使用して手軽に声のメモなどを録音できるICレコーダーです。簡単な操作で、録音や再生が手軽にできます。

●録音

ICレコーダーでは、新しく用件を録音すると、自動的にメモリーの最後尾に記録されます。このため、テープレコーダーのように、他の用件の上から録音してしまう失敗がありません。
さらに、テープレコーダーと異なり、録音を始めるところまで早送りや巻き戻しをする必要がないので、必要なときにすぐ録音を始められ、大変便利です。

●再生

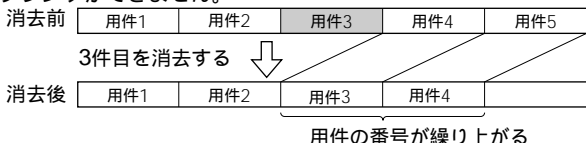
テープレコーダーのように巻き戻しをする必要がないので、今録音したばかりの用件をすぐに聞くことができます。また、聞きたい用件を簡単に探して聞くことができます。

●消去

不要な用件は、簡単に消すことができます。
途中の用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、テープのようにブランクができません。

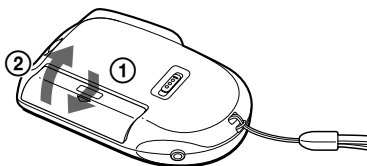
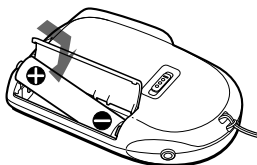
消去前	用件1	用件2	用件3	用件4	用件5
消去後	用件1	用件2	用件3	用件4	

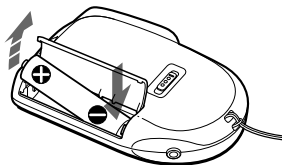
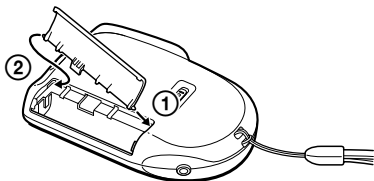
3件目を消去する

用件の番号が繰り上がる

主な特長

- **最大録音時間**　64**分**(SP)／128**分**(LP)
  最大128分の長時間録音に対応（LPモード時）。用件のメモはもちろん、会議や打ち合わせの録音に適しています。
- **ファイル管理**
  3つのファイルに分けて録音、保管できます。用件の整理がしやすく便利です。ファイル間の移動も簡単です（22ページ）。
  各ファイルには99件まで録音できます。
- **重要マーク設定機能**
  おのおのの用件の重要度に応じて重要マーク（★）を設定することができます（20ページ）。
  ファイル内では★の数が多い順に自動的に用件が並び替わります。
- **アラーム再生機能**
  設定した時間に自動的に再生が始まります（28ページ）。
  打ち合わせなどの時間にアラームを設定して、スケジューラーのように使うこともできます。
- **インテックス機能**
  用件の録音中または再生中に、好きなところに「インデックス」を追加し、用件を分割することができます（24ページ）。
  「インデックス」を追加したところは再生時に素早くアクセスできるので、会議などの長時間の録音をする場合に便利です。
- **再生スピード調節機能**
  用件を速聞き（＋30 %）または遅聞き（－15 %）ができます（26ページ）。会議録音などの再生時に便利です。
- **追加録音機能**
  録音済みの用件の後ろに、新たな用件を続けて録音し、1つの用件として管理することができます（27ページ）。

準備1: 乾電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける

2 単４形アルカリ乾電池（付属）を1本入れ、ふたを閉める

乾電池を取り出すには

下図のように乾電池の⊖側の端を押して取り出します。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは右の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、日付表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」（10〜11ページ）の手順2〜4をご覧になり、時計を合わせてください。

乾電池を交換する時期

電池が消耗してくると、「」が表示されるので、電池を交換してください。「」が点滅したら電源が切れ、操作ができなくなります。

ご注意

電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから３分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面（日付表示が点滅）に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。

なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。

乾電池の持続時間(ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)使用時)
連続使用の場合：録音時約10時間、再生時約5時間*

* 液晶バックライトをLIGHT OPに設定、音量つまみ「3」付近で内蔵スピーカーで再生した場合
* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ご注意

本機にはマンガン電池はお使いになれません。

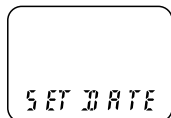
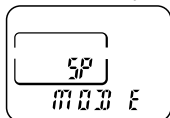
準備2: 時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、日付表示が点滅します。手順2から始めてください。

1 時計設定画面を表示する

① メニューボタンを押す。
メニューモード*に入ります。

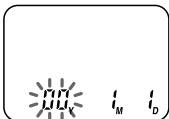
② –I◀◀ を1回押して「SET DATE」を表示させる。

SET DATE

③ 再生／停止ボタンを押す。
「年」の数字が点滅します。

＊「MODE」の代わりに「ALARM」と表示される場合もあります（46ページ）。

2 年月日を合わせる

① –I◀◀ または▶▶I＋を押して「年」の数字を選ぶ。

00 Y 1 M 1 D

② 再生／停止ボタンを押す。
「月」の数字が点滅します。

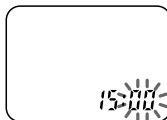
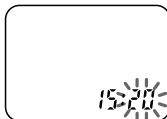
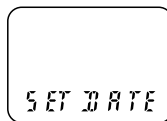
00 Y 1 M 1 D

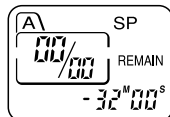
③ 同様にして、「月」、「日」を合わせ、再生／停止ボタンを押す。
「時」の数字が点滅します。

0:00

3 時分を合わせる

① –⏮ または⏭+を押して「時」の数字を選ぶ。

② **再生／停止ボタンを押す。**
「分」の数字が点滅します。

③ **同様にして、「分」を合わせる。**

④ **時報と同時に再生／停止ボタンを押す。**
SET DATE表示に戻ります。

4 メニューモードから出る

メニューボタンを押す。

用件を録音する

A、B、Cの3つのファイルそれぞれに99件までの用件を録音できます。
録音／停止ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

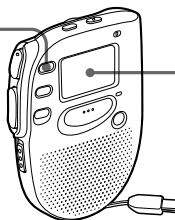
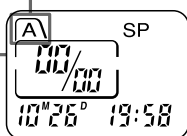
例：

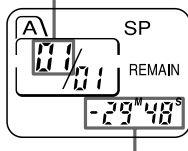
用件1	用件2	新しい用件	空きスペース

1 録音したいファイルを選ぶ

希望のファイルが表示されるまで、ファイル切換ボタンを繰り返し押す。

ファイルの種類

A SP
00/00
10M26D 19:58

2 録音を始める

① 録音／停止ボタンを押す。

② 内蔵マイクに向かって話す。

録音／再生ランプ

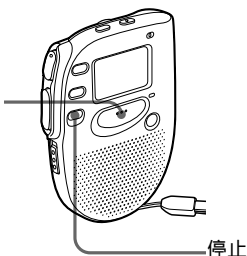
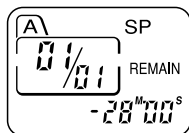
用件番号

A SP
01/01 REMAIN
-29M48S

残り時間表示

録音が始まると、録音／再生ランプが赤く点灯します。
録音／停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

3 録音を止める

録音／停止ボタンをもう一度押す。
今録音した用件の始めで停止します。

次に録音するとき、ファイルが同じ場合は、手順1は省略できます。

☞ **今録音したばかりの用件を聞くには**
- 録音／停止ボタンを押して録音を停止したあと、次に再生／停止ボタンを押すと、今録音した用件の始めから聞くことができます。
- 録音／停止ボタンを押す前に再生／停止ボタンを押しても、録音が止まり、その用件の始めから再生が始まります。

☞ **録音を止めるには**
録音／停止ボタンの代わりに停止ボタンを押して、録音を止めることもできます。

☞ **残り時間を表示させるには**
録音中には残り時間（REMAIN）が表示されます。停止中に残り時間を確認するには、停止ボタンを1秒以上押してください。

(次ページへ続く)

☞ **録音可能時間について**

最大録音時間は、全ファイル合わせてSPモードで64分、LPモードで128分、両モードを混ぜると64〜128分の間になります。
お買い上げ時は、SPモードが選択されています。録音モードを切り換えるには、33ページをご覧ください。

☞ **マイクについて**

内蔵マイクの感度を切り換えるには、36ページをご覧ください。

ご注意

- 録音中に残り時間が1分を切ると、残り時間と「END」の表示が交互に点滅します。メモリーがいっぱいになると、自動的に録音が止まり、「ピピピ」という警告音が鳴り、「FULL」表示が点滅します。録音を続けるには、不要な用件をいくつか消去してください。（18ページ）
- メモリーがいっぱいのときに録音しようとすると、「ピピピ」という警告音が鳴り、「FULL」表示が点滅します。不要な用件を消去（18ページ）してから録音してください。
- 99件録音済みのファイルに録音しようとすると、「ピピピ」という警告音が鳴り、「 FULL」表示と用件表示が点滅します。
  別のファイルを選ぶか、不要な用件をいくつか消去してから録音してください。（18ページ）

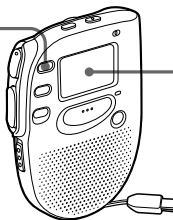
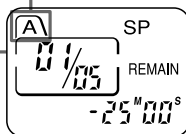
録音するときのご注意

録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されてしまうことがありますので、ご注意ください。

録音した用件を聞く

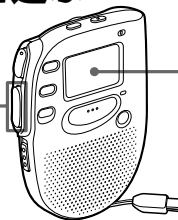
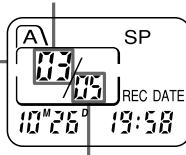
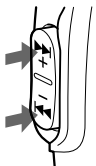
あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。
今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

1 ファイルを選ぶ

希望のファイルが表示されるまで、ファイルボタンを押す。

2 用件番号を選ぶ

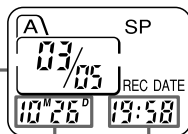
–⏮ または⏭＋を押して、聞きたい用件の番号を表示させる。

選んだ用件番号

A SP 03/05 REC DATE
10M26D 19:58

ファイル中の総用件数

次の用件へ

前の用件へ

（次ページへ続く）

3 再生を始める

再生が始まると、録音／再生ランプが緑に点灯します。
1つの用件の再生が終わると、次の用件の始めで停止します。
ファイル内の最後の用件の再生が終わると、その用件の始めに戻って停止します。

4 音量を調節する

音量つまみを回す。

再生の途中で止める

再生の途中で停止し、用件の頭に戻る	停止ボタンを押す。
再生の途中、その位置で停止する	再生／停止ボタンを押す。 もう一度再生／停止ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

その他の操作

次の用件に進む	▶▶I＋を押す。
前の用件に戻る	–I◀◀ を押す。
音を聞きながら早送りする	再生中に▶▶I＋を押し続ける。
音を聞きながら早戻しする	再生中に–I◀◀ 押し続ける。

同じ用件を繰り返し聞くには — 1件リピート再生

再生中に再生／停止ボタンを1秒以上押します。
「⊂▶」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。
リピート再生をやめて普通の再生に戻るには、再生／停止ボタンを押します。
再生を止めるには、停止ボタンを押します。

用件の頭だけをひと通り聞くには — スキャン再生

停止中に再生／停止ボタンを1秒以上押します。
「SCAN」が表示され、選んだファイル内の最初の用件から最後の用件まで始めの5秒ずつ再生します。
聞きたい用件がみつかったら、再生／停止ボタンを押すと、その用件を続けて聞くことができます。

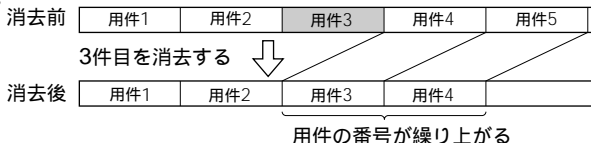
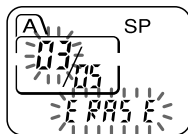
☞ **イヤホンで聞くには**

イヤホン（別売り）をイヤホンジャックに差し込んでください。
スピーカーから音が出なくなります。

録音した用件を消去する

録音した用件を1件ずつ、または1つのファイル内の全用件を一度に消去することができます。
一度消去した内容はもとに戻すことはできませんので、ご注意ください。

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

① 消去したい用件を再生中に消去ボタンを押す。または、停止中に消去ボタンを１秒以上押す。
「ピピッ」という確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件の初めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

② 用件が再生されている間に消去ボタンをもう1度押す。
用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。

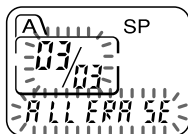
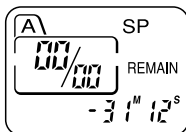
☞ **途中で消去をやめるには**
手順②の前に停止ボタンを押します。

☞ **他の用件を消去するには**
手順①と②を繰り返します。

ファイルの内容を一度に消去する

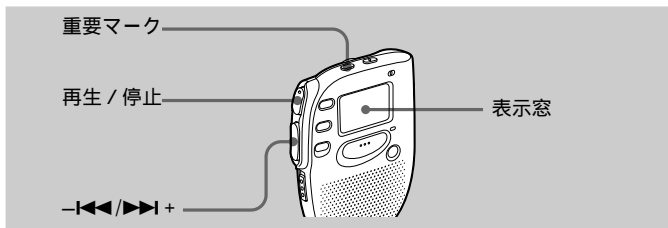
1つのファイルの中のすべての用件を一度に消去することができます。

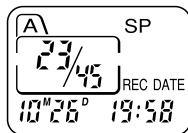
① ファイル切換ボタンを押して、ファイルを選ぶ。

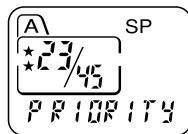
② 消去ボタンと停止ボタンを同時に1秒以上押す。
用件番号と「ALL ERASE」が点滅します。

③ 消去 ボタンを押す。

途中で消去をやめるには

手順③の前に停止ボタンを押します。

用件に優先順位をつけて並べ替える — 重要マーク

通常、用件は、各ファイルの中で録音日時の古い順に番号がつけられて並んでいます。これを、重要な用件が先に来るように、重要マーク（★）をつけて、並べ替えることができます。
「★★★」（最重要）、「★★」、「★」、無印、の4段階に並び替えることができます。

停止中に重要マークをつけるには

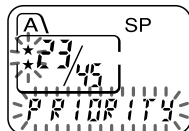
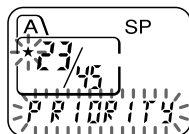
1 –I◀◀ または▶▶I＋を押して重要マークをつけたい用件の番号を表示させる。

2 重要マークボタンを押して、★印を表示させる。

押すたびに「PRIORITY」の文字が出、表示が★→★★→★★★→無印の順に切り換わります。

再生中に重要マークをつけるには

1 重要マークボタンを押して、★印と「PRIORITY」を点滅させる。

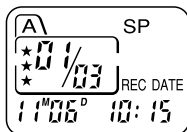
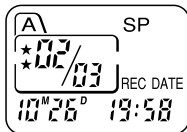
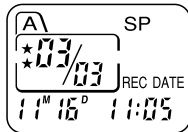
用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

2 重要マークボタンを押して、★印の数を選ぶ。

3 再生／停止ボタンを押す。

重要マークのついた用件は

各ファイルの中で、★印の数の多い順に自動的に並び替えられます。
★印のない用件は、★印のある用件の後ろに並びます。
停止中には重要マークをつけるたびに並び替わります。再生中に重要マークをつけた場合は、手順3で再生／停止ボタンを押すと並び替わります。

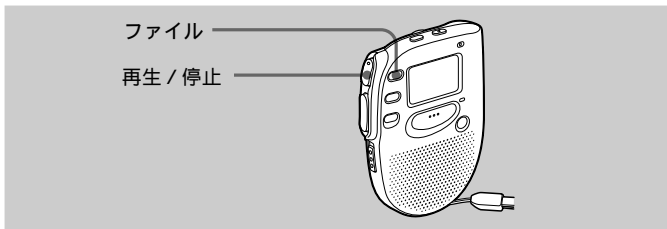
☞ **★の数が同じ用件が2件以上ある場合は**
録音日時の古い順に並びます。

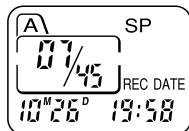
例：同じファイルに用件が3件入っているとき

1番目

2番目

3番目

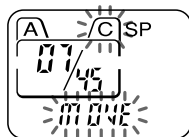
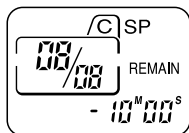
ご注意

- 用件の順番を入れ替えている間は、用件番号のところに「ーー」が表示されます。
- 用件の始めと終わりを5秒間ずつ再生している間に再生／停止ボタンを押さないと、残り時間表示に戻ります。最初からやり直してください。

用件を別のファイルに移動する — ムーブ

録音済みの用件を、別のファイルに移動させることができます。

例：ファイルAの7件目の用件をファイルCに移動する場合

1 **移動させたい用件を再生する。**

2 **用件を再生中にファイルボタンを押して、移動先のファイルを点滅させる。**

移動先のファイルと「MOVE」の表示が点滅し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

3 **再生／停止ボタンを押す。**

途中でファイルの移動をやめるには

手順3の前に停止ボタンを押します。

ご注意

- ムーブ機能を使って用件を移動すると、元のファイルからは用件がなくなり、移動先のファイルのみに用件が入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）
- 用件の始めと終わりを5秒間ずつ再生している間に再生／停止ボタンを押さないと、残り時間表示に戻ります。最初からやり直してください。

ひとつの用件を2つに分ける — インデックス機能

再生中または録音中に、用件に「インデックス」を追加し、用件を分割することができます。
インデックスを追加すると、その場所から新たな用件番号がつくため、会議など長時間録音の場合に、再生したい場所が素早く探せるので便利です。

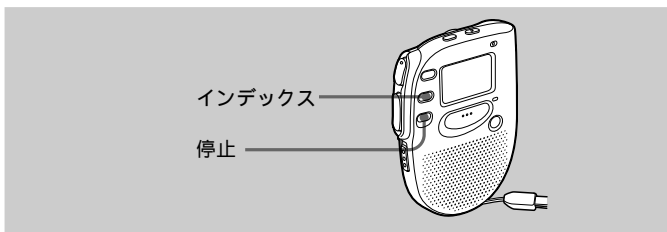
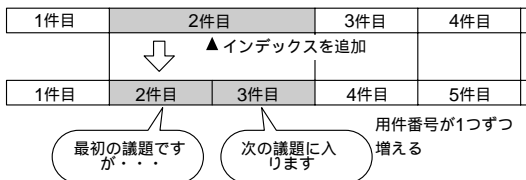
1件目	2件目		3件目	4件目

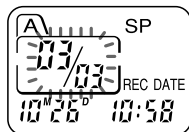
▲インデックスを追加

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目

最初の議題ですが・・・

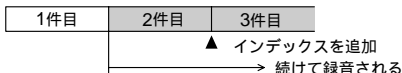
次の議題に入ります

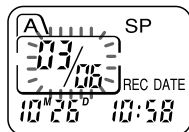
用件番号が1つずつ増える

録音中にインデックスを追加するには

用件の録音中に、インデックスを追加したいところでインデックスボタンを押す。

押したところから新しい用件番号がつき、その番号が3回点滅します。2つの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

1件目	2件目	3件目

▲ インデックスを追加

続けて録音される

再生中にインデックスを追加するには

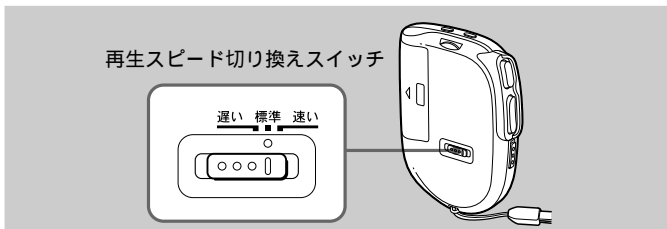
分割したい用件を再生し、インデックスを追加したいところでインデックスボタンを押す。

用件が分割され、新しい用件番号が3回点滅します。
以降の用件番号はひとつずつ送られます。

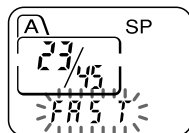
☞ **インデックスを追加した部分を探して聞くには**
分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に–I◀◀ または▶▶I＋を押して再生する部分を探してください。

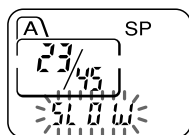
☞ **分割した用件を続けて聞くには**
37ページ「ファイル内の用件を続けて再生する」で「CONT On」を選ぶと便利です。

ご注意
ICレコーダーの録音方式では、システム上の制約により、下記の症状が起こることがありますが、故障ではありません。
- 用件の始めと終わりの各8秒（LPモードでは16秒）にはインデックスを追加できないことがあります。
- インデックスを頻繁に追加すると、インデックスの追加ができなくなることがあります。

再生スピードを調節する

本機の裏面にある再生スピード切り換えスイッチによって、再生速度を調節できます。

速聞きするには

再生スピード切り換えスイッチを「速い」にします。「FAST」の表示が3回点滅し、再生速度は　約30%速くなります。

遅聞きするには

再生スピード切り換えスイッチを「遅い」にします。「SLOW」の表示が3回点滅し、再生速度は　約15%遅くなります。

普通の再生に戻すには

「標準」に合わせます。

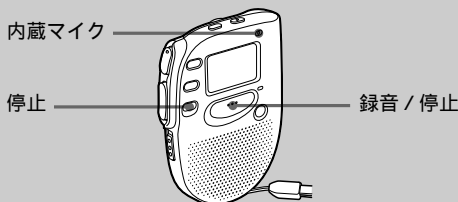
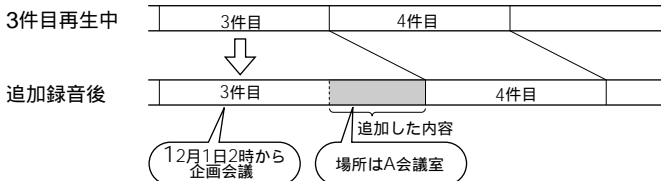
録音済みの用件に追加録音する

用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。
新しく追加した内容は、どこで録音を始めても、再生中の用件の最後に追加されます。用件番号は新たにつけられるのではなく、再生中の用件の一部として数えられます。

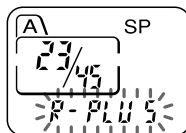
3件目再生中　3件目　4件目

追加録音後　3件目　4件目

追加した内容

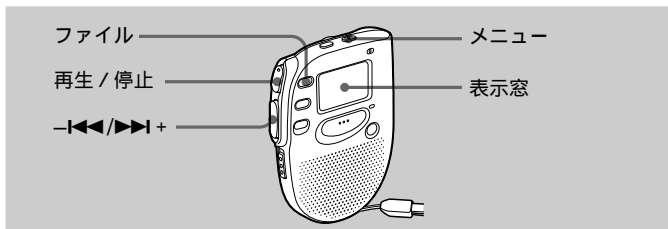
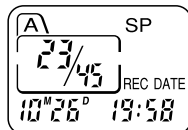
12月1日2時から企画会議　場所はA会議室

1 **再生中に録音／停止ボタンを1秒以上押す。**

A　SP　23/45　R-PLUS

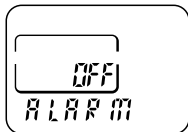
録音／再生ランプが赤に変わり、
「R-PLUS」が3回点滅します。
内蔵マイクに向かって話してください。
「R-PLUS」表示は点滅のあと、録音可能時間表示に変わります。

2 **録音／停止ボタンをもう一度押して録音を止める。**

☞ **録音を止めるには**
録音／停止ボタンの代わりに停止ボタンを押して、録音を止めることもできます。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

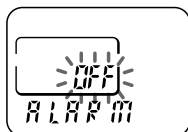
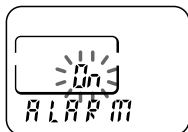
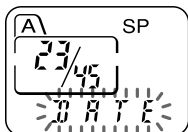
あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。

1 ファイル、–⏮/⏭+ボタンを使って、アラーム再生したい用件のファイルと用件番号を選ぶ。

2 アラーム設定画面を表示する。

① メニュー ボタンを押す。

メニューモードに入り、「ALARM OFF」が表示されます。
(「ALARM On」が表示されるときは、すでにその用件がアラーム設定されています。そのままで良い場合は、メニューボタンを押してメニューモードを終了させてください。)

ご注意

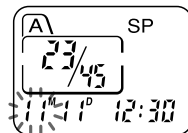
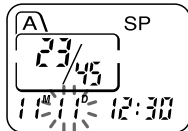
時刻設定をしていない場合や用件が録音されていない場合は表示されません。（アラーム設定はできません。）

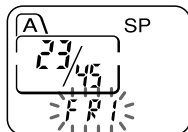
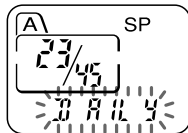
② 再生／停止ボタンを押す。

「OFF」が点滅します。

③ –I◀◀ または▶▶I＋を押して、「On」を点滅させる。

④ 再生／停止ボタンを押す。
「DATE」が点滅します。

3 アラーム再生する日を設定する。

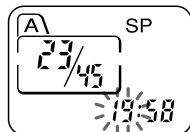
●月日を指定する場合

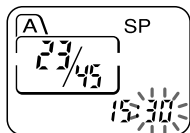
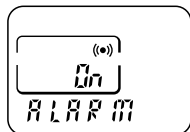
（用件を消去するまで毎年同じ日、時刻に再生されます。）

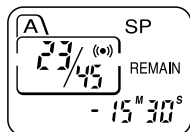
① 「DATE」が点滅したら、再生／停止ボタンを押す。
「月」の数字が点滅します。

② –I◀◀ または▶▶I＋を押して月の数字を選び、再生／停止ボタンを押す。
「日」の数字が点滅します。

③ –I◀◀ または▶▶I＋を押して日の数字を選ぶ。

●週に1回再生したい場合
–I◀◀ または▶▶I＋を押して曜日を選ぶ。

●毎日決まった時刻に再生したい場合
–I◀◀ または▶▶I＋を押して「DAILY」を選ぶ。

(次ページへ続く)

4 再生／停止ボタンを押す。

時刻設定画面が表示されます。

5 アラーム再生する時刻を設定する。

① –I◀◀ または▶▶I＋を押して時の数字を選び、再生／停止ボタンを押す。
「分」の数字が点滅します。

② –I◀◀ または▶▶I＋を押して分の数字を選び、再生／停止ボタンを押す。

「ALARM On」と「((•))」が表示され、設定が完了しました。

6 メニューボタンを押してメニューモードから出る。

アラーム設定した用件には「((•))」が表示されます。
設定した時刻になると、約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります。
再生中は、「ALARM」表示が点滅します。
再生が終わると、自動的に停止します。

☞ 用件が再生される前に止めるには
アラーム音が鳴っている間に停止ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

ご注意

- 日時設定をしていない場合や、用件が1件も録音されていない場合は、アラーム設定はできません。（メニューモードに入ってもアラーム設定画面が表示されません。）
- すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻をアラーム設定しようとすると、「PRE SET」が点滅し、設定はできません。
- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、録音を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。「(•)」は設定した時刻に点滅します。
- 録音中に2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ再生されます。
- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時は、メニューモードが中止され、アラームが鳴ります。
- アラーム再生を設定した用件を消去すると、アラーム再生は無効になります。
- 再生音の大きさは、音量つまみで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

その他の機能

アラーム設定を解除またはアラーム時刻を変更するには

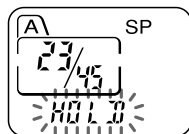
1 アラーム設定してある用件を選び、メニューボタンを押す。
「ALARM On」が表示されます。

2 再生／停止ボタンを押して「On」を点滅させる。

3 **アラーム設定を解除する場合：**–⏮ または⏭＋ボタンを押して「OFF」を点滅させ、再生／停止ボタンを押す。
アラーム時刻を変更する場合：再生／停止ボタンを押す。現在設定されているアラーム再生日が表示されたら、29〜30ページの手順3〜5を行い、アラーム再生日、時刻を変更する。

4 メニューボタンを押してメニューモードから出る。

誤操作を防止する（ホールド機能）

ホールドスイッチを矢印の方向にずらします。「HOLD」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。ただし、アラーム音を止めるときには停止ボタンは使えます。

操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

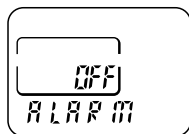
ご注意
録音中にHOLDにした場合、録音を止めるには、まずHOLDを解除してください。

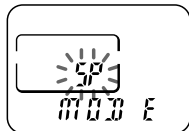
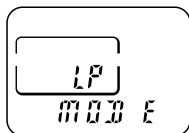
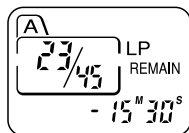
録音モードを切り換える

MODE SP： 最大64分間の録音ができます。より良い音質で録音できます。

MODE LP： 最大128分間の録音ができます。

1 メニューボタンを押す。

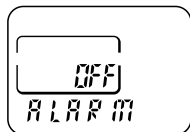
メニューモードに入ります。

2 –⏮または⏭＋を押し、「MODE」を表示させ、再生／停止ボタンを押す。

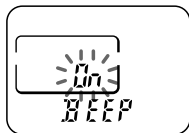
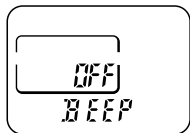
「SP（またはLP）」が点滅します。

3 –⏮または⏭＋を押し、SPまたはLPを選び、再生／停止ボタンを押す。

設定が完了しました。

4 メニューボタンを押して、メニューモードから出る。

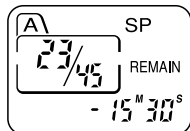
ピッという確認音を切る

BEEP On：　操作時の受け付け確認音が鳴ります。
BEEP OFF：操作時の受け付け確認音が鳴りません。（アラームは鳴ります。）

1　メニューボタンを押す。

メニューモードに入ります。

2　–I◀◀ または▶▶I＋を押し、「BEEP」を表示させ、再生／停止ボタンを押す。

「On（またはOFF）」が点滅します。

3　–I◀◀ または▶▶I＋を押し、OnまたはOFFを選び、再生／停止ボタンを押す。

設定が完了しました。

4　メニューボタンを押して、メニューモードから出る。

音が表わす意味

音のパターン	意味
ピッ（1回鳴る）	通常モードの操作
ピピッ（2回鳴る）	メニューモードなど、特別なモードに入った時／出たとき
ピピピッ（3回鳴る）	お知らせ*
ピピピピ　ピピピピ（連続して鳴る）	アラーム設定の時刻になった時

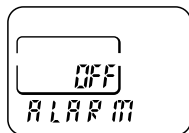
* 誤った操作をしたときや特別な状態などをお知らせします。
  例：　– 録音可能時間または録音可能件数いっぱいまで録音されているのに、さらに録音をしようとしたとき
  　　　– 電池残量がなくなり、動作が停止するとき

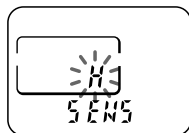
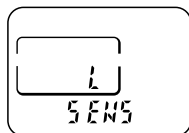
マイク感度を切り換える

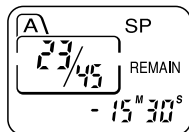
SENS H： 会議録音モード。遠くの音や小さい音を録音するとき使います。（例：会議を録音するとき）

SENS L： 口述録音モード。近くの音や大きい音を録音するとき使います。（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）

1 メニューボタンを押す。

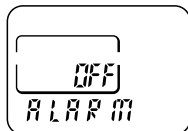
メニューモードに入ります。

2 –⏮ または⏭＋を押し、「SENS」を表示させ、再生／停止ボタンを押す。

「H (またはL)」が点滅します。

3 –⏮ または⏭＋を押し、HまたはLを選び、再生／停止ボタンを押す。

設定が完了しました。

4 メニューボタンを押して、メニューモードから出る。

ファイル内の用件を続けて再生する

CONT On：　用件を続けて再生します。
CONT OFF：用件が終わるごとに止まります。

1　メニューボタンを押す。

メニューモードに入ります。

2　–⏮◀ または▶⏭+を押し、「CONT」を表示させ、再生／停止ボタンを押す。

「OFF(またはOn)」が点滅します。

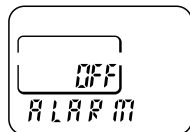
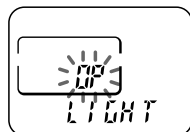
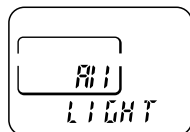
3　–⏮◀ または▶⏭+を押し、OnまたはOFFを選び、再生／停止ボタンを押す。

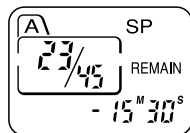
設定が完了しました。

4　メニューボタンを押して、メニューモードから出る。

液晶バックライトの点灯のしかたを切り換える

LIGHT OP：ボタン操作時に3秒間点灯します。
LIGHT All： ボタン操作時の3秒間に加え、動作中常に点灯します。

1 メニューボタンを押す。
メニューモードに入ります。

2 –I◀◀ または▶▶I＋を押し、「LIGHT」を表示させ、再生／停止ボタンを押す。
「OP(またはAll)」が点滅します。

3 –I◀◀ または▶▶I＋を押し、OPまたはAllを選び、再生／停止ボタンを押す。

設定が完了しました。

4 メニューボタンを押して、メニューモードから出る。

動作中以外（時計表示になっているとき）に、停止ボタンを押すと、バックライトが点灯し、暗いところでも時刻の確認ができます。

ご注意
明るいところでは、バックライトが点灯していることがわかりにくいことがあります。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内。（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	• 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。 • 乾電池が消耗している。 • ホールドスイッチが入っている。 (ボタンを押すと「HOLD」表示が3回点滅します。)
スピーカーから音が出ない。	• イヤホンが差し込まれている。 • 音量が絞られている。
「FULL」が点滅し、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 →不要な用件を消去する。（18ページ参照） • 選んだファイルに99件録音されている。 →別のファイルを選ぶか、不要な用件を消去する。（18ページ参照）
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 別売りのイヤホンで聞く場合、イヤホンのプラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	• マイク感度が「SENS L」になっている。 「SENS H」に切り換える。(36ページ参照）
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• 再生スピード切り換えスイッチを「標準」に合わせる。(26ページ参照）
時計表示が「--M--D --:--」になる。	• 時計を合わせていない。 (10ページ参照）
REC DATE表示が「--M--D」になる。	• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されない。
録音／再生中にインデックスが追加できない。	• 用件の始めと終わりの各8秒（LPモードでは16秒）にはインデックスを追加できないことがあります。 • インデックスを頻繁に追加するとインデックスの追加ができなくなることがあります。
正常に動作しない。	• 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。

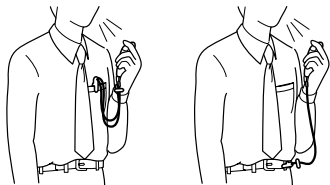
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

主な仕様

録音方式	内蔵フラッシュメモリー使用　モノラル録音
最大録音時間	SP：64分 LP：128分
周波数特性	SP：250〜3,400Hz LP：250〜2,500Hz
スピーカー	直径　36mm
出力端子	イヤホン（ミニジャック／モノラル） 負荷インピーダンス　8〜300Ω
再生スピード調節	FAST：＋30% SLOW：–15%
最大出力	80mW
電源	DC 1.5V　単4形アルカリ乾電池1本使用
最大外形寸法	約58.0×83.5×14.7mm（幅／高さ／奥行き） 最大突起部含まず
質量	68g（アルカリ乾電池LR03 1本含む）
付属品	ソニーアルカリ乾電池LR03（1） ハンドストラップ（1）（本体に装着済） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売アクセサリー	モノラルイヤーレシーバー MDR-E123（国内） アクティブスピーカー SRS-28M（国内）/SRS-T1（海外） 接続ケーブル RK-G64（国内）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ハンドストラップの使いかた

長さは調節できます。

各部のなまえ

本体

1 音量つまみ（☞16ページ）

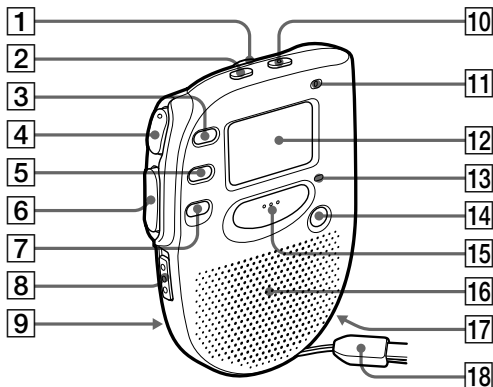
2 重要マークボタン（☞20ページ）

3 ファイル切り換えボタン（☞ 12、15、19、22ページ）

4 ►■再生／停止・メニュー内項目決定ボタン（☞ 10、16、33ページ）

5 インデックスボタン（☞24ページ）

6 –I◄◄/►►I＋（早送り／早戻し・メニュー内項目選択）ボタン（☞ 15、17、33ページ）

7 停止ボタン（☞13ページ）

8 ホールドスイッチ（☞32ページ）

9 再生スピード切り換えスイッチ（☞26ページ）

10 メニューボタン （☞10、33ページ）

11 内蔵マイク（☞12ページ）

12 表示窓（☞43ページ）

13 録音／再生ランプ（☞12ページ）

14 消去ボタン（☞18ページ）

15 録音／停止ボタン（☞12ページ）

16 スピーカー

17 イヤホンジャック（☞17ページ）

18 ハンドストラップ

表示窓

1 ファイル内の総用件数（☞15ページ）

メニュー内のモード表示（☞28、33〜38ページ）（On、OFFなど）

2 ファイル表示（☞15ページ）

3 選んだ用件番号（☞15ページ）

4 重要マーク（☞20ページ）

5 録音可能時間（残り時間）表示（REMAIN）（☞12ページ）

録音日付、時刻表示（REC DATE）（☞16ページ）

現在日付、時刻表示（☞10ページ）

メニュー表示（☞10、28、33〜38ページ）（ALARMなど）

操作メッセージ（☞17、18、20、22、26、27、32ページ）（ERASE、SCANなど）

6 アラーム表示（☞30ページ）

7 録音モード（☞33ページ）

8 電池交換時期表示（☞9ページ）

9 一件リピート表示（☞17ページ）

10 REMAIN（録音可能時間）表示（☞12ページ）

11 REC DATE（録音日付、時刻）表示（☞16ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

メニュー一覧

* 日時設定をしていない場合や、用件が1件も録音されていない場合は、「ALARM」は表示されません。

DATE
月
日
時
分
SUN
時
分
MON
時
分
TUE
時
分
WED
時
分
THU
時
分
FRI
時
分
SAT
時
分
DAILY
時
分